

第58回県下高等学校柔道選手権大会（鹿綜警杯）
（第40回全国高等学校柔道選手権大会鹿児島県予選）
実 施 要 項

- 1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後 援 鹿児島県高等学校体育連盟
- 3 期 日 平成30年1月13日（土）・14日（日）
 - ※ 開館 午前8時30分
 - ※ 審判会議・監督会議 9時30分
 - ※ 開会式 午前10時
 - ※ 個人試合（男女）・女子団体試合計量は、1日目9時より行う。
 - ※ 2日目の団体試合は、10時より開始する。
- 4 会 場 鹿児島アリーナ（メイン）
- 5 参加資格
 - (1) 鹿児島県内の高等学校生徒で、平成11年4月2日以降に生まれた者（平成29年4月2日現在で、18歳未満であり第1・2学年に在籍）。同一学年での出場は1回限りとする。
 - (2) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合は認めない。
 - (3) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、主催者の認可があればこの限りでない。
 - (4) 高等学校体育連盟及び全日本柔道連盟に登録した選手であること。監督は、全日本柔道連盟に登録した者であること。
 - (5) 団体試合は、男子各校1チーム、監督1名、選手7名とする。
女子各校1チーム、監督1名、選手3名、補欠2名とする。
 - (6) 個人試合男子は、定める体重5階級、各校3名以内とする。ただし、無差別は4名とする。
個人試合女子は、定める体重5階級、各校3名以内とする。ただし、無差別は4名とする。
 - (7) 選手変更について
ア 団体試合・個人試合ともに、申込み後の選手に負傷又は発病があった場合は、次の手続きを経て監督会議までに提出する。
 - ① 事故のあった選手の診断書
 - ② 変更選手の校長認可証・健康診断書イ その他の事項については、全国大会要項に準ずる。
- 6 表 彰 団体・個人の第1位から第3位、及び5人抜き・10人抜きの選手を表彰する。
- 7 参加料 団体試合＝1チーム 男子3,500円 女子2,500円
個人試合＝個人試合のみ出場する選手 500円
※ 大会当日、「受付」に納入すること。
- 8 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定（新規定）で行う。
 - (2) 全国高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項
 - ア 団体試合
 - ① 試合時間は3分間とする。（ただし、決勝戦は4分）
 - ② 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。
なお、僅差は「指導差2」とする。
 - ③ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「9競技方法」で定める。
 - イ 個人試合
 - ① 試合時間は3分間とする。（ただし、決勝戦は4分）
 - ② 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」以上とする。
 - ③ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- 9 競技方法
 - (1) 第1日目は個人試合、第2日目は団体試合を行う。
 - (2) 団体試合（男子の部）
 - ア トーナメント戦で行う。
 - イ 各チーム間の試合は、勝ち抜き試合とする。

- ウ 試合は各チーム5人で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- エ 大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。
代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(3) 団体試合（女子の部）

- ア トーナメント戦で行う。
- イ 各チーム間の試合は、体重別点取り（先鋒：52kg以下・中堅：63kg以下・大将：無差別）試合とする。補欠は、該当する階級に出場できる。試合ごとのオーダー変更は行わない。
- ウ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は代表戦を行う。
代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「指導1」以上とする。なお、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

(4) 個人試合

- ア 男子は、体重別（60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・無差別）の5階級によるトーナメント戦で行う。
- イ 女子は、体重別（48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別）の5階級によるトーナメント戦で行う。
 - ☆団体・先鋒（52kg以下に登録した場合）
個人は、48kg級・52kg級・無差別のいずれかに登録できる。
 - ☆団体・中堅（63kg以下に登録した場合）
個人は、全ての階級ならびに無差別のいずれかに登録できる。

10 参加申込

平成29年12月12日（火）必着で、所定の申込書により、「〒892-0853 鹿児島市城山町2-21 公益財団法人鹿児島県柔道会」あて申し込むこと。封筒に「大会申込書在中」と朱記すること。なお、組合せ表の送付を希望する場合は、あて名記入、切手つきの封筒を同封すること。主催者において、決定する。

11 組合せ

12 その他

(1) 脳震盪対応について

- ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
- イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(3) 男女とも団体試合優勝校と個人試合各階級優勝者が「第40回全国高等学校柔道選手権大会」に鹿児島県代表として出場する。

(4) 男子団体は3人以上、女子団体は2人以上でも出場を認める。ただし、代表校になることはできない。

※ 男子の配列は、大将からつめる。

(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。

(6) 当日は、駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。